

詩篇18篇シリーズ

「④神を認めるへりくだり」

詩篇 18:31-36

2018.7.8 HKJCF

1

概観

試練に遭った時、盾になって下さった神に助けられたおかげで、試練から脱出し始める時、神の恵みを認める謙虚さ、そして神をほめたたえ、証していくことを学びたい。

アウトライン

- | | |
|------------|---------|
| 1. 神を認めること | V31 |
| 2. 神を証すること | V32-V34 |
| 3. 神を称えること | V35-V36 |

2

1. 神を認めること V31

- 1) 唯一の神: 信仰の告白(ミリアム、出エジプト 15:11; モーセ、申命記 33:29; ハンナ I サムエル 2:2)。遠い、抽象的な、無人格の神ではなく、イスラエルの歴史と個人体験。
- 2) 岩: その陰に憩い、新鮮な命を与える神の比喩表現(出エジプト 17:6; 申命記 32:4)。
- 3) 恵みを忘れる弱さ: プライド、むさぼり、満たされていると思い込んでいる時(申命記 32:15、18); 神がいないと満たされない意識。

3

2. 神を証すること V32-V34

- 1) この神こそ: 親しい神との関係を証する習慣。一般的ではなく具体的に表現する＝①戦いの助け ②安全な場所の確保。
- 2) 与えられた恵み: 軍人としてすばらしいもの＝①力 ②機敏さ ③多才な腕。
- 3) 道を完全にされる: רַמִּים (*tamim*) = 無傷、健全、完璧、非難されない(箴言 3:5-6)。
- 4) 手足が強められている: 足＝雌鹿(高いところ); 手＝戦士(青銅の弓)。

4

3. 神を称えること V35-V36

- 1) 御救いの盾: 身を守る術が与えられた; 右の手: 力強さの象徴。
- 2) あなたの謙遜: 独特な表現; 羊飼→將軍→王＝全く主の救いと右の腕による。神様が高い天の宮↓、ダビデを↑。信仰を全うできる＝キリストの謙遜(ヘブル 12:2)。
- 3) 大またで歩かせる: 歩くスペースが広くなった(危険で狭い山道ではなく); くるぶしはよろけ^{ない}: 安全な道が備えられた。

5

祈り

「神様、
良い時も悪い時もあなたは岩となって下さって、憩いの場になってくださって感謝します。
あなたからいただいた恵みを数え、振り返る習慣が身に付くように助けて下さい。試練から脱出する時、あなたに助けられたことを忘れることがないように。
また、あなたの良さ、素晴らしさを証するきっかけと勇気を与えて下さい。」

6